

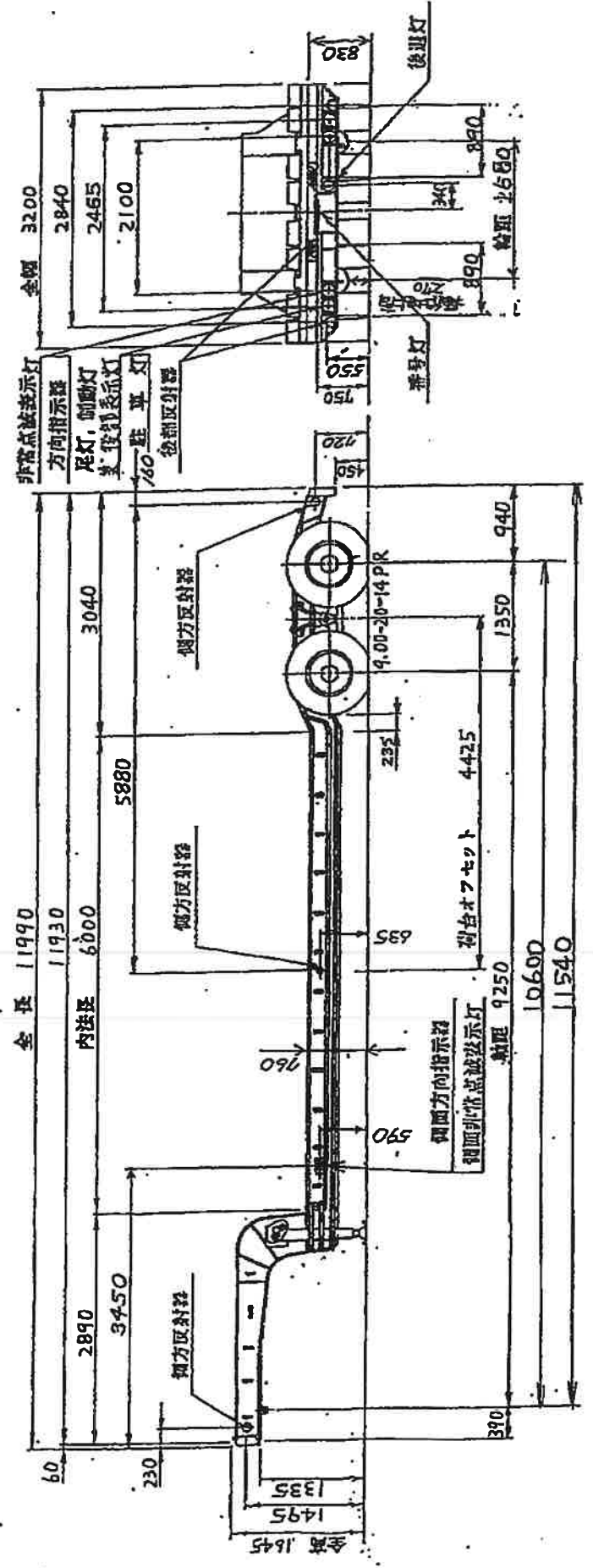
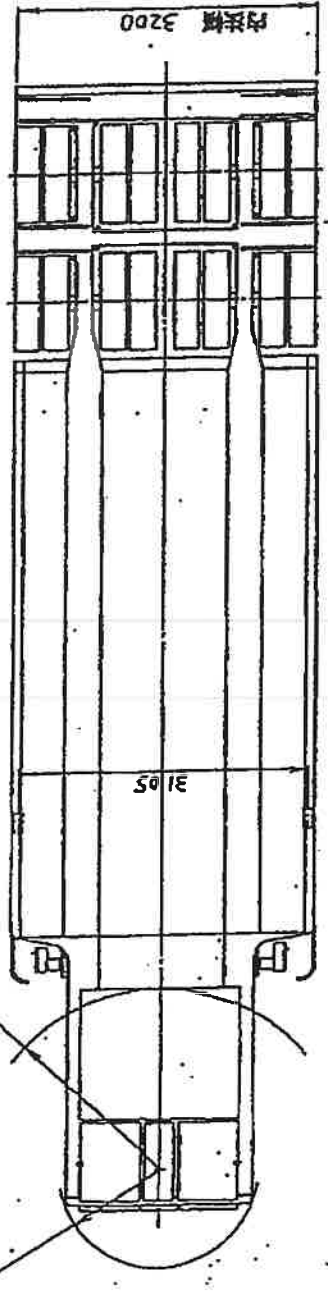
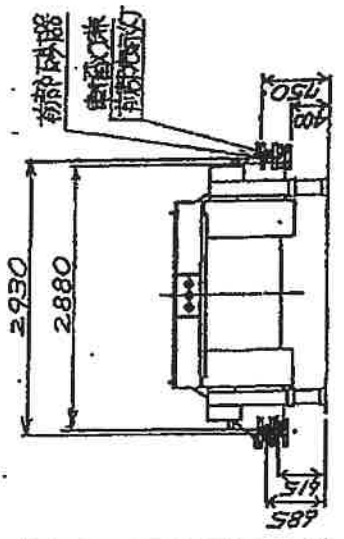
(その1)

諸 元 表

新型自動車番号	類別区分番号	
新型届出年月日	仕 様	
変更届出年月日		
車名及び型式	長さ m	11.980
トレールモービル PM439SV	幅 m	3.200
車台の名称及び型式	高さ m	1.645
トレールモービル PM439SV	輪 距 m	前 輪 後 輪
車体の名称及び型式	室内又は 荷台の内 m	長さ 幅 高さ
製作者等の氏名又は名称	荷台オフセット m	4.425
日本トレールモービル株式会社	車両重量 kg	前前軸重 前後軸重 後前軸重 後後軸重 計
自動車の種別		乗車定員 人
フ ッ ウ		最大積載量 kg
用 途		車両総重量 kg
貨 物		最大安定傾斜角度
車体の形状	左	51 ニッサンディーゼール W-CW620GNT 連結時
セミトレーラ	右	51 ニッサンディーゼール W-CW620GNT 連結時
軸 距 m	車輪配列	8 . 8
9.250 + 1.350 = 10.600	タイヤ	前 輪 後 輪
燃料の種類		9.00-20-14PR
原動機の型式	保安基準緩和項目 幅 (第2条) 車両総重量 (第4条) 軸 重 (第4条の2)	
総排気量又は定格出力 と又はkW		
備考		

トレールモーター PM439SV型 セミトレーラ 外觀四面図

船まわり半径 970R ナマまわり半径 2080R



## 連結検討用諸元一覧表

トレーラモビルPM439SV

項 目	諸 元 値	備 考
重心高 [H <sub>i</sub> ]	725 (m/m)	
発生制動力 [B <sub>ya</sub> ]	15160 (kg)	(空気圧8kg/cm <sup>2</sup> )
エアタンク容積 [V <sub>t</sub> ]	30+30=60 (ℓ)	
エア配管部容積 [V <sub>p</sub> ]	1.5 (ℓ)	
エアチャンバ容積合計 [V <sub>c</sub> ]	0.4×4=1.6 (ℓ)	





第2号機式

北陸車第1184号  
平成7年3月20日

日本トレールモービル株式会社  
代表取締役 得能 温雄 殿



北海道運輸局  
改造自動車審査結果通知書

指示事項：1. 本試作は、製造番号「PM439SV011」の1台限りとする。  
2. 車台番号は、車庫打刻を受けること。  
3. 「改造運送車両の保安基準」の緩和を受けること。(幅、車両重量、軸重、脚板軸重)  
4. けん引車は、ニッサンディーゼルP-CW66GT、W-CW620G、NT、日野W-SS2VJAA、W-SS2VJBA、三菱P-FV414JR、W-FV414JR以下6型式について検討した。  
なお、第五輪荷重は、全て18,000kgで検討した。

主要諸元比較表

架出車の 成り又は名称	旧 日本トレールモービル株式会社		新 製造車		普通 (被けん引 8 輪)		貨物 容量
	項目	名称	項目	名称	種別車	改造車	
車両重量kg		12400			トレールモービル	PM439SV	
乗車定員人		-			形	セミトレーラ	
最大積載量kg		32000			原動機の型式		
車両軸重kg		44400			燃料容量ℓ		
長さm		11.520			燃料の種別		
幅m		3.200			軸間		
高さm		1.645			軸間距離mm	9.250	
荷台長さm		6.000			軸間距離mm	+ 1.350	
内側寸法		3.200			最小軸距mm	= 10.600	
高さ		0.000			オーバーハング	※ 11.83	512
空車時重量kg		3650			オーバーハング	0.940	500 (5.300)
後					前後アキットm	4.495	
前					軸		
後					タイヤ		
前後					サイズ	(2500XL)X33	
空車時重量kg		17900			後		
後					前	9.00-20	20240kg
前後					後	14PR	
空車時重量kg		13250			積車時		
後					タイヤ		
前後					積車割合		
空車時重量kg		1.580			最大積載	65.5	
後					積載割合	53	
前後					最大積載	53	
空車時重量kg		35 kg/h10.31 m			車軸強度	m/σ = 55/2.5x10.40 = 2.11 > 1.6	
後					車軸強度	n = 62/2.5x5.51 = 4.50	
前後					脚板強度	n = 49/2.5x8.34 = 2.35	
空車時重量kg		-			制動装置	n = 4200/1872 = 2.24	
後					連結装置	n = 100/36.52 = 2.73	
前後					連結装置		

注1. 主要諸元比較表右欄( )内の改造、試作、組立は該当するものを○で囲むこと。  
注2. 能力強度等検討時に必要としなければいらないものは、省略したものは×を記入すること。  
注3. ※印欄は ニッサンディーゼル P-CW66GT との連結時の値を示す。

S1267

改造概要説明書

目的	当該車両は、分割不可能な単体物品である幅広重量物の安全輸送の為、新たに製作するものである。
車体	中低床式である。
軸距	9.250+1.350=10.600m とする。
軸距	1.680m とする。
原動機	-----
動力伝達装置	-----
走行装置	16輪駆動式の車軸を車両後部に取付けている。 タイヤは、9.00-20-14PR を被験で使用している。
特殊装置	-----
制動装置	(主制動装置) 気圧内都広域式2シューアンカービン形式のものでカムとレバー機構により半徑方向に拡がり、ドラム内周を圧迫して制動を行なう。走行中にけん引車より分離した場合は、リレーエマージェンシバルブの作用により自動的に制動がかかる。 (従車制動装置) プレーキチャキヤンバに内蔵しているスプリングの張力によりスラックアジャスタスを押し、主制動装置を利用したリリガブレーキ形式である。
懸架装置	トラニオン軸を中心として上下に揺動するウォーキングベーム形式である。
連結装置	連結用キングピンを備えている。形状はJIS D 6602、材質はJIS G 4105、SCM440 (クロムモリブデン鋼) である。
車わく	主レールには高張力鋼を、クロスメンバにはI形鋼及び清形鋼を、外レールには清形鋼を用いており、全体の構造は揚子型構造である。
その他	けん引車 ニッサンディーゼル P-CW66GT W-CW620GNT 日野 W-SS2VJAA 三菱 W-SS2VJBA W-FV414JR W-FV414JR

(A列9番)